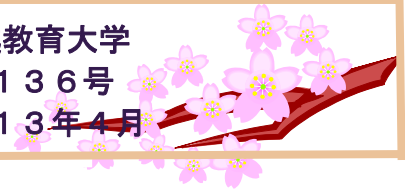


国際交流のひろば

上越教育大学
第136号
2013年4月



留学生オリエンテーション

4月11日(木) 12時から人104において、平成25年度留学生オリエンテーションを実施しました。

研究連携室長の進行で、最初に林国際交流推進室長から挨拶と「4つの留学生支援方針について」の説明があり、「留学生履修プログラム」「留学生支援に関する役割」「修学・生活上の諸手続きについて」など国際交流チーム主査から、「宿舍入居の注意」を学生支援チーム主査から説明がありました。

出席した留学生と教職員は熱心に耳を傾けていました。



留学生のお花見会

4月13日(土) 13時30分から高田公園にて、多文化交流サークル(まるかる)が中心となり、留学生のお花見会を行いました。留学生、学生、教職員14名が参加し、青空と桜の下でお花見を楽しみました。

初めて日本で桜を見た王特日格楽さんに感想を伺いました。

内蒙古民族大学協定 短期留学生 王特日格楽(中国)

来日前、日本語の授業で「日本人は春、桜が咲いている時、お花見の習慣があります。家族、親戚、友達、職場・・・みんな桜の木の下で、敷物を敷いて、一緒に食べたり、飲んだり、遊んだりして、楽しい時間を過ごします」と先生が教えました。その時、私は本当ですかと思いながら、いつかそれを体験したいなあと思いながら、わくわく、楽しみにしていました。

そしてお花見の日がやっとやってきました。その日の天気は本当に良くて、お花見が初めての私に、天様(空のこと)が一番嬉しい顔を出してくれてありがとうねという気持ちで、皆さんと高田公園に行きました。公園に入った瞬間、わあーと声が出そうな感じでした。その様子は、本当に授業で先生が言ったとおりでした。私たちも同じように、敷物を敷いて、お菓子食べたり、ジュースを飲んだり、喋ったりして、本当に楽しい一時を過ごしました。お花見も経験できて、本当によかったなあと思います。私の人生のホームページに登録されました。

地域貢献事業「外国人児童生徒への修学支援プロジェクト」報告・説明

4月24日(水) 14時40分から人113において、平成24年度実施報告と平成25年度概要説明を行いました。

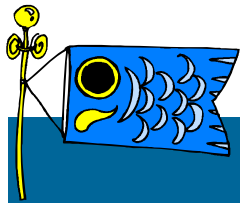
子どもランブ顧問の原瑞穂准教授の司会進行により、最初に概要説明を国際交流サポーターから、次に平成25年度活動説明、平成24年度の支援報告を5名の学生および留学生から、最後に登録などについて国際交流アシスタントから連絡がありました。

約25名の学生や留学生が参加し、修学支援プロジェクトの登録手続きも行いました。



発行・お問い合わせ先

〒943-8512 新潟県上越市山屋敷町1番地 上越教育大学 国際交流推進室「国際交流のひろば」
Tel: 025-521-3666 (研究連携室国際交流チーム)



上越教育大学

137号 第2013年5月

国際交流のひろば

語学教室が始まりました

5月13日(月)12時から人105教室において、中国語教室と韓国語教室が始まりました。

4名の留学生が講師となり、受講者は中国語教室に7名、韓国語教室に7名が参加し、学校で外国人児童生徒を迎えた時にも使える簡単な表現や発音などを学んでいます。

この語学教室は、全8回行う予定です。



テキサス大学サンアントニオ校との連携協定を締結しました

本学とアメリカのテキサス大学サンアントニオ校との間で学生・教員の相互受け入れや語学研修プログラム策定などを見据えた連携協定を締結し、5月16日(木)本学大会議室において、連携協定締結調印式を行いました。

また、同日11時から講302教室において、テキサス大学サンアントニオ校Julius Gribou副学長による講演会を開催しました。

テキサス大学サンアントニオ校は、1970年創設、学生数31,000人で、7つの学部と23の博士課程を有し、現在、83カ国から2,200人の留学生を受け入れています。

今回の締結により、海外との大学間等交流協定締結校は、6か国10校となりました。

交流協定校は以下のとおりです。

- ハルビン師範大学(中国) 1995年～
- 韓国教員大学校(韓国) 1996年～
- アイオワ大学(アメリカ合衆国) 1998年～
- 北京師範大学(中国) 2001年～
- チャナッカレ・オンセキズ・マルト大学(トルコ) 2005年～
- 国立嘉義大学(台湾) 2006年～
- 内モン古民族大学(中国) 2006年～
- ウェストミンスター・スクール(オーストラリア) 2009年～
- 国立新竹教育大学(台湾) 2012年～
- テキサス大学サンアントニオ校(アメリカ合衆国) 2013年～



調印式



Julius Gribou副学長 講演会



アイオワ大学から教育実習生の受入れ

5月20日（月）から6月1日（土）まで、本学協定校であるアイオワ大学（アメリカ合衆国）から引率者1名と教育実習生2名を受け入れ、下記の日程で教育実習を行いました。

アイオワ大学教育学部では、教育実習16週間のうち8週間を海外で実施しており、そのうちの2週間を今回本学の教育実習期間中に、試行的に実施しました。初日は大学で講義、ガイダンス等を行い、2日目以降は附属中学校などで教員や実習生の授業観察、その後アメリカ文化を題材に授業実践を行いました。

5/20（月）	：大学（講義、ガイダンス等）
21（火）～24（金）	：附属中学校（教育実習）
25（土）	：大町小学校（スポーツ体験）
26（日）27（月）	：ホームステイ
28（火）	：附属小学校（教育実習）
29（水）	：大手町小学校（"）
30（木）31（金）	：大町小学校（"）
6/1（土）	：上越を出発



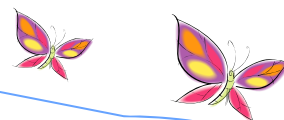
5/24 附属中学校での授業実践



澈楽牡丹、苗慧穎、阿菜、藤山広美エリカ
（敬称略）

よろしくお祈いします!

4月に4名の留学生が入学しました。
これにより、本学で学ぶ留学生数は、博士課程の留学生を含めると26名となりました。
現在、中国、台湾、パキスタン、ブラジル、フランスからの留学生が在籍しています。
初めて渡日した藤山広美エリカさんの自己紹介です。



研究生 藤山広美エリカ（ブラジル）

上越教育大学の皆様、こんにちは！初めまして、私は藤山広美エリカと申します。ブラジルから参りました。5月16日に日本に到着しました。

私の趣味は和太鼓です。和太鼓だけではなく、ブラジルやアフリカやアラビアンなどの太鼓をするのも好きです。ですから、私が日本で一番行きたい場所は鼓童が有名な佐渡島です。そこで、8月に行われる「アース・セレブレーション」というフェスティバルをぜひ見に行こうと思っています。

私は、ブラジルのサンパウロ州立大学人文学部で日本語の文法や、日本文学や文化などを勉強しました。卒業後、私は日本語を教えたり、ポルトガル語を日本人に教えたりしていました。

上越教育大学では、日本語と日本語の教え方や教材などを勉強したいと思っています。日本文化ももちろんできるだけ学びたいと思っています。それは、皆様との日常生活が一番の勉強になるとおもいますので、どうぞよろしくおねがいします。

発行・お問い合わせ先

〒943-8512 新潟県上越市山屋敷町1番地 上越教育大学 国際交流推進室「国際交流のひろば」
Tel: 025-521-3666（研究連携室国際交流チーム）



国際交流のひろば

留学生の上越地域散策（直江津地区）

6月5日（水）直江津地区の地域散策を行い、留学生16名と日本人学生2名が参加しました。

直江津駅前からスタートし、八坂神社、観音寺、青山邸、大神宮、二段坂、聴信寺、旧直江津銀行、琴平神社、船見公園、えびす稲荷、日野宮神社を上越市観光ガイドからの説明を聞きながら見学しました。旧直江津銀行では内部の見学もしながら、市役所職員から説明を聞きました。最後に上越市立水族博物館に行き、様々な魚や餌付けショーなどを見学しました。

参加した苗慧穎さん（中国）から感想文を寄せてもらいました。



学校臨床研究コース 研究生 苗慧穎（中国）

6月5日、私たち留学生は上越地域散策で直江津に行ってきました。

バスに乗った時から今回の活動への期待でいっぱいでした。直江津に着いたら、上越市観光ガイドの案内により旅が始まりました。

林美美子の句碑や八坂神社、上越で一番高い神社の大神宮などを訪れました。旧直江津銀行では、明治時代の銀行建築と土蔵作りの建築を詳しく教えてくれました。

地形や建物の説明を聞いて、どの国でも、人間の生活はそれぞれの必要なものを自然に受け取り、自然とともに生きていることが分かりました。

最後に、上越市の水族博物館を見学しました。美しい水族館の巨大な水槽の中で、悠然と泳ぎ続ける多くの魚の姿を見て、とても気持ち良かったです。

今回の地域散策を通して、地域の自然環境と文化遺産の大切さ、さらに自然との共生の大切さなどを学び、その上で楽しむことができたのは、私にとって大きな収穫であり、大切な思い出になります。

平成25年度国際交流インストラクター養成事業説明会

6月7日（金）12時から人104において、平成25年度国際交流インストラクター養成事業説明会を行いました。

この事業は、地域の国際化に対応できる人材の養成を目的に、（公財）新潟県国際交流協会が主催する参加型実践教育プログラムで、本学は昨年度から参加し、新潟県内の小中学校5校で授業を行いました。

説明会には、学生、留学生など24名が参加し、アドバイザーの教員から説明があり、昨年参加した学生による体験発表を行いました。

今後は、実際に参加する学生がテーマや主旨を決定し、9月以降、希望のあった小中学校に派遣され、授業を実践していく予定です。



釜田アドバイザーからの説明

平成25年度留学生交通安全教室

6月19日（水）13時30分から大会議室において、平成25年度留学生交通安全教室を実施し、留学生16名、学生4名が参加しました。

押木留学生支援部会副部会長の挨拶の後、上越警察署交通課及び警備課職員による交通安全指導では、主に自転車のルールを中心とした通行の仕方、標識、実際の事故の様子などのお話がありました。

最後に留学生の張盼さん（中国）が「今までよく知らなかったルールを今日知ることができました。これからきちんとルールを守ります」と感想とお礼を述べました。



平成25年度第1回留学生が語る／留学生と語る会



6月26日（水）17時30分から人113において、留学生が語る／留学生と語る会を開催しました。

今回の語り手は、アリ・ワジッドさん（パキスタン）「パキスタンの魅力」、王特日樂格さん、郭双龍さん（中国・内蒙古）「遊牧文化から生まれたライフスタイル～内モンゴルを中心に～」のテーマで故郷の自然、文化、歴史などについて語りました。

今回は市民の方々にもお越しいただき、教職員、学生などを含め、約40名の参加がありました。

参加者は熱心に耳を傾けていました。

台湾・国立新竹教育大学への派遣留学生の留学レポート

平成24年9月～平成25年6月まで、本学との交流協定校である台湾・国立新竹教育大学へ留学した岡本華子さんから留学レポートが届きました。

芸術系コース（美術）大学院2年 岡本華子

一年間の台湾留学は本当にあつという間でした。新竹教育大学では水墨画や膠彩画の授業をとり、毎日絵を描いていました。志を同じくするたくさんの方の学生とともに毎日制作に打ち込めたことは本当に良い経験でした。台湾七校卒業制作展やヤングアートタイペイという展覧会に参加させていただき、台湾の方に自分の絵を見てもらえる機会は本当に貴重で、参加したことでこれからの自分の制作に対する意識も変わりました。

また、かけがえのない友達もできました。2月の旧正月には友達の家を訪問し、伝統的な旧正月を体験しました。旧正月では親戚や家族が30人以上集まり一緒にご飯を食べ、お茶を飲み語らいます。皆さんが暖かく迎え入れてくれて夜遅くまで楽しく話しました。グアバを食べながら私の故郷の話をしたり、おばあちゃんに台湾語を教えてもらったりと今でも鮮明に思い出することが出来ます。その他にも伝統的なお祭りを見に行ったり、台北、台南など色々な場所に連れて行ってもらったりと書き出せばきりがありません。

最後に本当に留学してよかった、自分の人生の糧になりました。



新年、寺廟にて

発行・お問い合わせ先

〒943-8512 新潟県上越市山屋敷町1番地 上越教育大学 国際交流推進室「国際交流のひろば」
Tel: 025-521-3666（研究連携室国際交流チーム）



国際交流のひろば

外国人留学生奨学金説明会

7月24日(水) 13時から人104教室において、平成26年度外国人留学生奨学金説明会を行いました。

外国人留学生の修学を支援することを目的とした「ロータリー米山」「平和中島」「国費国内採用」等の募集や応募の仕方について、生澤留学生支援部会員から説明がありました。



留学説明会

7月24日(水) 16時30分から人113において、本学と協定を締結している海外の大学についての情報提供等を目的に、留学希望者、留学に興味がある学生を対象に協定校交流推進部会が企画した留学説明会を開催しました。交流協定校の紹介、留学生交流支援制度(短期派遣)などについて、北條協定校交流推進部会長から説明がありました。

平成25年度上越教育大学国際交流推進後援会奨学金授与式

7月25日(木) 14時から大会議室において奨学金授与式が行われ、平成25年度奨学生となった留学生10名に、国際交流推進後援会長である佐藤学長から奨学生決定通知書が交付されました。

本後援会は、上越教育大学における国際交流の推進を支援し、教育及び学術研究の進展に寄与することを目的として設立され、趣旨に賛同した教職員による、会員や寄付者からの拠出金により支えられています。派遣留学生や留学生への支援、協定校との交流推進、留学生との交流事業などを実施しており、本奨学事業は、留学生への支援として、学業・人物等に優れている私費留学生に対し、奨学援助を行っているものです。



テーマは「特別なおにぎり」

出場しました!

7月6日(土)新潟市で行われた第10回日本語スピーチコンテスト(NSGグループ主催)に3名の留学生が出場し、李艶さん(中国)が最優秀賞、アリ・ワジットさん(パキスタン)がパフォーマンス賞を受賞しました。

李艶さんは「日本に来て、沢山の優しい方に支えられたおかげで今の自分の成長があったと思います、いつも感謝しております。」と感想を述べました。

7月25日、林国際交流推進室長及び指導教員への報告会を行いました。

発行・お問い合わせ先

〒943-8512 新潟県上越市山屋敷町1番地 上越教育大学 国際交流推進室「国際交流のひろば」
Tel:025-521-3666 (研究連携室国際交流チーム)



留学生の日本文化・歴史体験及び地域交流に関する研修

8月5日（月）、6日（火）福島県会津若松市で一泊二日の研修を行いました。

この研修は、留学生に日本文化・歴史体験及び地域の交流、また日本人学生との交流の機会を提供することを目的に行っています。

会津藩校日新館、鶴ヶ城、大内宿、塔のへつり、福島県立博物館、飯盛山などを地元ガイドの案内により見学し、会津名物のねぎそばを味わってきました。

写真は、福島県立博物館です。

激楽牡恩さんに感想文を寄せてもらいました。



大学院1年 学校臨床研究コース 激楽牡恩（中国）

日本文化を学ぶことを目的に8月5、6日、私たち留学生は福島県会津若松市に行ってきました。

会津藩校日新館、鶴ヶ城、大内宿、塔のへつり、福島県立博物館、飯盛山などの歴史が溢れるところを観光し、日本の歴史文化をたっぷり学びました。鶴ヶ城に登り、当時の戦争の激しさを知り、八重さんの勇ましさに心より崇拜しました。大内宿は江戸時代の宿場であり、今でも完全に残されており、お土産屋や蕎麦屋に変身しました。日本人の歴史を重視し、完璧に保存している工夫にびっくりしました。塔のへつりは軟岩部が長年の歳月による侵食と風化の作用によって形成された柱状の断崖になり、大規模な奇岩が整列しています。大自然の創造力に感動し、目を疑うぐらいでした。

最後に飯盛山に登り、白虎隊の自刃した場所を見ました。なんとも言えない悲しい気持ちで、16歳の若い子たちが自刃するということは勇気があると思いながら、かわいそうとも思いました。もし私がその時代、その場にいたら・・・と想像し、白虎隊のような勇気はあるのかなと考えました。

今回の研修旅行を通じて、地域の文化と触れ合うことができ、たくさんのことを学びました。またこのような旅行を楽しみにしています。ありがとうございました。

短期外国人留学生成果発表会

8月26日（月）13時から人106教室において、昨年10月から学部特別聴講学生として在籍していたアリ・ワジッドさん、王特日格樂さん、郭双龍さん、高洋さんの4人が1年間の学習成果を発表しました。発表会では、それぞれ留學生活の感想や出身国と日本との比較考察など、各自のテーマに基づいた発表と質疑応答を行いました。

1年間、郭双龍さんのチューターをした大学院2年の土屋悠さん（美術）は「チューターをして逆に勉強になることが多かった。郭さんが民族についてよく知っているように、自分も日本語や日本についてもっと知らないといけないと思いました。」とチューターを終えた感想を話していました。



発行・お問い合わせ先

〒943-8512 新潟県上越市山屋敷町1番地 上越教育大学 国際交流推進室「国際交流のひろば」
Tel: 025-521-3666（研究連携室国際交流チーム）



国際交流のひろば

短期外国人留学生修了証書授与式

9月2日(月) 11時から大会議室にて執り行い、学長から修了証書が授与されました。

昨年10月から学部特別聴講学生として留学したアリ・ワジッドさん(パキスタン)、高洋さん、王特日格楽さん、郭双龍さん(中国)の4名が修了し、ほっとした様子で、それぞれ9月に帰国されました。



哈爾濱師範大学協定 短期留学生 高洋(中国)

日本に来て、予想以上の優しい人と出会い、助けられました。チームワークの大切さ、自己表現の力、家族の幸せなどをしみじみ実感しました。「高さん中国語を教えて」「中国の墨絵のことを教えて」など、沢山の人が中国に興味を持ってきていると思うと、ありがたい気持ちになりました。

今回の留学では沢山の人がお世話になりました。私に多くの力を与えてくれた魅力あふれる日本と私の周りのすべての人に感謝しています。私はこれから力を尽くして、日中の架け橋になりたいと思います。本当にありがとうございました。



留学生就職セミナー

9月24日(火)、25日(水) 人104教室において、NPO法人留学生職業能力開発センターから3名の講師をお招きして、大学院の留学生を対象とした就職セミナーが行われました。

企業説明会の申し込みの方法、企業選択、就活マナー、模擬面接など、実践に役立つことを学びました。

修了生からの手紙

平成25年3月に本学大学院言語系国語コースを修了し、現在、中国大連の前程日本(留学機構)で勤務されている宋曉萌さんからお手紙が届きましたので、ご紹介します。

上越教育大学の皆さん、修了生の宋曉萌です。お元気ですか。終了して間もなく五ヶ月になります。帰国して、家族と友達のそばに戻って嬉しいけど、上越での勉強生活が懐かしいです。今年留学生のバスツアーで会津若松市に行くと聞きました。皆さんの笑顔は相変わらず輝いているのでしょうか。

私は現在、留学機構に勤めています。日本への留学を志向する学生に日本での勉強、生活、そしてどのように勉強と研究を進めるかなどについて教えています。休みの時は、日本人に中国語や中国文化を教えています。中国に帰っても、日本との繋がりはかえって深くなってきたような感じです。上越教育大学で習ったことを生かして、これからも頑張ります。本当にありがとうございます。



小学校時代の友人と大連にて

発行・お問い合わせ先

〒943-8512 新潟県上越市山屋敷町1番地 上越教育大学 国際交流推進室「国際交流のひろば」
Tel: 025-521-3666 (研究連携室国際交流チーム)

国際交流のひろば



留学生オリエンテーション

10月4日(金) 12時から人104教室において、平成25年10月入学の留学生を対象にした留学生オリエンテーションを実施しました。

最初に、林国際交流推進室長からご挨拶と「4つの留学生支援方針について」の説明があり、次に「留学生履修プログラム」「修学・生活上の諸手続き」など国際交流チーム主査から、最後に「宿舍入居の注意点」を学生支援チームから説明がありました。



外国人研究者の招へい

10月20日(日)から11月20日(水)まで外国人研究者として、本学と交流協定校である台湾の国立新竹教育大学芸術与設計学系教授、李足新氏を招へいしました。

李足新氏は本学で「日本の現代写実絵画における発展について—今後のアジアにおける写実絵画の動向の研究—」をテーマに研究活動に従事されます。受入教員は芸術系(美術)コースの伊藤将和講師です。また、洞谷亜里佐准教授(協定校アドバイザー)が協力者として窓口教員となります。

新入生のご紹介

10月に入学した留学生は、中国4名、トルコ、オーストラリア、ブラジル各1名の7名です。これにより、本学で学ぶ留学生の数は、博士課程の留学生を含めると30名となりました。

ユルトウル・ファットさん(写真:後列右)に自己紹介をお願いします。



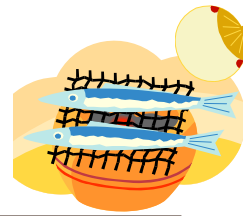
日本語・日本文化研修留学生 ユルトウル・ファット(トルコ)

私はユルトウル・ファットと申します。24歳です。トルコのチャナッカレ・オンセキズ・マルト大学から参りました。2013年10月から上越教育大学に1年間留学することになりました。日本語や日本文化に興味があって日本語を勉強し始めました。日本語を勉強し始めてから様々な物事に会ってきました。アニメ、漫画、剣道、書道、日本文学などです。会えば会うほど日本や日本語に思う「好き」という気持ちも増えていきます。将来日本語の先生になりたい理由は、このような美しくきれいな日本と日本語をトルコ人の学生たちに伝えたいということです。そして、ただ言語を教えるだけではなく目標言語の文化を精一杯頑張って伝えたいということは日本に留学したい理由の一つです。

発行・お問い合わせ先

〒943-8512 新潟県上越市山屋敷町1番地 上越教育大学 国際交流推進室「国際交流のひろば」
Tel: 025-521-3666 (研究連携室国際交流チーム)

国際交流のひろば



J. TEST 実用日本語検定受験

11月17日(日) 本学において、外国人留学生26名がJ. TEST 実用日本語検定を受験しました。留学生の日本語能力を公正かつ客観的に評価し、今後の留学生に対する日本語支援に役立てることを目的に実施しています。

留学生が受験したものは中級～上級者向けで、点数により能力を特A～D級に判定します。受験した留学生に対し、検定の結果と講評、事後指導を12月中に行う予定です。

世界を語ろう!

11月20日(水) 12時10分から留学生交流プラザにおいて、「世界を語ろう!」を全5回の予定で行っています。ランチタイムに留学生、学生、教職員が集まり、世界の文化、生活、言葉などについて、一緒におしゃべりしながら交流しています。

1回目はトルコからの留学生が話題提供者となり、「ヨーロッパとアジアの赤い糸」の話題で行いました。



ASEAN加盟国中学生招聘交流事業

11月25日(月) シンガポール、フィリピン、ラオスの中学生の計18人と引率者3人が来学しました。

この事業は国立妙高青少年自然の家が計画したプログラムの一環として行われました。

訪問団は、歓迎式、英語の授業見学、日本語の授業参加、アカペラ&ストリートダンスのクラブ活動を体験しながら本学学生との交流、お別れ会の日程で交流が図られました。

学長と平成25年度入学留学生の懇談会

11月28日(木) 12時から大会議室において、学長と平成25年度入学留学生との懇談会を実施しました。

学長、理事、副学長、留学生指導教員、留学生支援部会員と留学生11名が出席しました。

留学生の自己紹介、学長から励ましの言葉があり、昼食をとりながら日本での生活や文化体験、出身国の話など、和やかに懇談が行われました。

留学生らは上越で迎える初めての冬の準備を「これからします。スキーが楽しみです。」と話していました。



発行・お問い合わせ先

〒943-8512 新潟県上越市山屋敷町1番地 上越教育大学 国際交流推進室「国際交流のひろば」
Tel: 025-521-3666 (研究連携室国際交流チーム)



国際交流のひろば



世界を語ろう!



12/18

魅力あふれる
山東省

11月20日から留学生交流プラザにおいて、毎週水曜日のランチタイムに「世界を語ろう」を行い、留学生、日本人学生、教職員が集まり、世界の文化・生活・言葉・などについて一緒におしゃべりしながら交流しました。

11月は留学生による「ヨーロッパとアジアをつなぐ赤い糸（トルコ）」、12月は日本人学生による「私の知るシリア」、留学生による「ブラジルの日本語学校」「魅力あふれるー山東省ー」「オーストラリアとクリスマス」の話題で行いました。

話題提供者による豊富な映像と説明を聞きながら、参加者は質問したり、クイズに答えたりするなど、充実した交流の時間となりました。

参加した後藤俊介さん（音楽・M3）は、「日頃、何気なく接している留学生の出身国での習慣や生活、食事などの文化を知ること、自分自身も視野が広がり、とても有意義な経験をすることができました。」と感想を話していました。

12/25

クリスマス

オーストラリアと



平成25年度上越教育大学地域貢献事業 「冬休みの宿題教室」

12月20日（金）16時30分～19時30分、第2講義棟202教室において、冬休みの宿題教室を実施しました。これは、平成25年度上越教育大学地域貢献事業「外国人児童生徒への修学支援プロジェクト」によるもので、外国につながる上越市、妙高市在住の児童生徒を対象に支援するものです。

18名の外国人留学生及び日本人学生が支援者として参加し、10名の小中学生が持参した冬休みの宿題の中で、一人では取り組むことが難しい部分などを中心に行いました。



発行・お問い合わせ先

〒943-8512 新潟県上越市山屋敷町1番地 上越教育大学 国際交流推進室「国際交流のひろば」
Tel: 025-521-3666（研究連携室国際交流チーム）

国際交流のひろば



平成25年度第2回留学生在語る／留学生と語る会

1月21日（火）13時から人113において、留学生在語る／留学生と語る会を行いました。

外国人留学生に対する理解や関心を高め、異文化理解マインドを育てるため、留学生在が自国の紹介などを行い、留学生と語り合う機会を提供することを目的に実施しています。

今回の発表者は、博士課程3年の王穎さんで「日本と中国の特別支援教育について－博士課程の研究を中心として－」のテーマで語りました。

参加者からは「ハルピンや特別支援教育について、少し知ることができた」「留学生の苦労や頑張りを理解することができた」などの感想がありました。



外国人留学生との意見交換会



1月22日（水）16時から人113において、外国人留学生との意見交換会を実施しました。

本学教職員、外国人留学生、チューターなど39人が出席しました。留学生支援部会の榊原部会員が司会進行となり、林国際交流推進室長の挨拶、留学生の自己紹介に続き、小グループごとに意見交換を行いました。

留学生からは生活や修学などに関する感想や要望が出されました。今後、この会で得た意見を留学生支援につなげていきます。和やかな雰囲気の中で活気のある意見交換・情報交換ができました。

国際理解教育派遣プロジェクト

本プロジェクトは、本学の外国人留学生を地域の教育機関に派遣し、学校現場での国際教育への一助となるとともに、留学生の日本や上越地域に対する理解を深める交流事業となることを目的としています。

平成25年度は、高田南城高校、開志学園高校、浦川原中学校、安塚中学校、春日小学校に15人の留学生を派遣し、留学生出身国の民族衣装、食文化、スポーツ事情などについての授業を行いました。



H25.7 家庭科における民族衣装の授業

発行・お問い合わせ先

〒943-8512 新潟県上越市山屋敷町1番地 上越教育大学 国際交流推進室「国際交流のひろば」
Tel: 025-521-3666 (研究連携室国際交流チーム)

国際交流のひろば



韓国教員大学校短期留学プログラム（受入れ）

2月4日（火）から7日（金）までの4日間、本学との協定校である韓国教員大学校から学部学生10人と引率教員1人、事務職員1人の計12人が来学し、短期留学プログラムを実施しました。この交流プログラムは、本学と韓国教員大学校が1年おきに相手校を訪問し、学生の国際理解の深化を図ることが目的です。本学での特別講義、附属中学校と大手町小学校の訪問、茶道体験、本学学生との意見交換会など様々なプログラムを体験し、教員や学生との交流を深めました。



牧区ごんぞ飛ばし大会に参加しました

2月23日（日）牧区深山荘の雪原において、第3回ごんぞ飛ばし世界選手権大会に留学生5名が参加しました。

ごんぞは、わらで作った長靴のことで、大会では遠くまで飛ばすことを競い合いました。また、前日は前夜祭、灯の回廊、さいの神などにも参加し、地元の方々と交流しました。

参加した林筱蓉さん(台湾)は「ごんぞ飛ばしの熱い戦い、感動的な雪の灯、そして親切な皆さんのおかげで、寒い冬の中、私の心も温くなりました。」と感想を話していました。

平成25年度外国人留学生成果発表会

2月24日（月）9時30分から人104において、平成25年度外国人留学生成果発表会を行いました。

発表者は3月修了予定の大学院生、張盼さん(中国、学校臨床)と楊蕙榮さん(台湾、美術)で、研究成果と研究を進めた方法や心の持ち方について発表しました。

参加した留学生は熱心に先輩留学生の話聞いていました。



留学生スキーのつどい

2月26日（水）27日（木）赤倉観光リゾートスキー場において、スキー発祥の地である上越の地域性を生かし、留学生がスキーを体験するとともに、スキー実習を通して留学生相互及び教職員・学生との親睦を図ることを目的として実施しました。参加した田静さん(中国)は「転んだらまた立ち上がり。楽しい時間を過ごしながらか自分の意志も磨くことができました。和室と温泉も最高でした。」と感想を話していました。

発行・お問い合わせ先

〒943-8512 新潟県上越市山屋敷町1番地 上越教育大学 国際交流推進室「国際交流のひろば」
Tel: 025-521-3666 (研究連携室国際交流チーム)

国際交流の ひろば

第147号 2014年3月

平成25年度上越教育大学国際交流のつどい

3月5日(水)16時から大学会館第一食堂において開催し、上越市、上越国際交流協会、近郊のロータリークラブ、上越青年会議所、本学振興協力会など、日ごろ交流のある地域団体の方々と本学関係者から約90人の参加がありました。

この会は、日ごろから本学留学生にご支援をいただいている地域の方々と本学教職員及び留学生等が意見交換を行い、本学の国際交流推進に役立てるとともに相互の親睦を深めることが目的です。

第一部では、本学の国際交流の現状について林国際交流推進室長から、留学生の現状と支援について押木留学生支援副部長からの説明と留学生による1年間の活動報告、体験発表がありました。第二部の懇親会では、留学生が民族舞踊、民族音楽などを披露し、ご出席の方々も一緒に踊り、盛り上がりました。留学生と関わりをもつ沢山の方からご意見等をいただき、それぞれが交流を深める有意義なひとときを過ごしました。

本学国際交流の現状



懇親会でジヨンゴを踊る



学長と平成25年度修了留学生及び在籍留学生との懇談会

3月17日(月)13時から本学大会議室において、学長と3月に修了する留学生及び在籍留学生との懇談会を実施し、学長、副学長、留学生指導教員等7名と留学生17名が出席しました。

最初に、佐藤学長からお祝いの言葉と記念品授与があり、留学生代表がお礼の言葉を述べた後、懇談しました。

留学生の劉淙さん(中国)は「先生方から熱心なご指導、ご支援をいただき、心からお礼を申し上げます。皆様の温かい祝福と励ましのお言葉をいただき、今日の感激と感謝の気持ちを胸に刻み、今後も努力していきます。そして、このような立派な式で、私達を送り出さいただき、きっと忘れることのない思い出になります。ありがとうございました。」とお礼の言葉を述べました。



発行・お問い合わせ先

〒943-8512 新潟県上越市山屋敷町1番地 上越教育大学 国際交流推進室「国際交流のひろば」
Tel:025-521-3666 (研究連携室国際交流チーム)